修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。

（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

本年度予算

中学生 一万三千五百円

要保護の修旅補助金

へき地も同額 小学生は四千八百円

父兄負担の軽減をはかるため全修協、三地区修旅連絡協、各地区修旅委で運動をつづけている文部省の本年度要保護・準要保護ならびに高度へき地の児童生徒に対する修学旅行費の補助は、中学生一万三千五百円、小学生四千八百円と決まり、第七十五通常国会で通過成立する。しかしこの補助額はまだ実際の費用におよばないところから全修協はじめ各団体ではさらに増額運動に拍車をかけることになった。

概算要求では中学生一万四千四百円、小学生五千二百円。本年度の文部省の目玉である〃教員給与〃と〃私学〃予算のため大幅な削減を予想されたが、修学旅行費高騰の実情が認められたため要求額に近いものとなり、同省財務課の松隈、田中両事務官は〃妥当な線だろう〃と胸をなでおろしている。

【要保護・準要保護】

対象は中学三年の九万四千六百七十八人、小学六年十万二千二百九十四人で、これに産炭地に九百九万八千円を加算し八億九千三百六十万七千円、昨年度より二億一千四百七十万七千円の増額である。

また、校外活動費としては小学生百七十円、中学生三百円となり昨年度より小学生三十円、中学生五十円アップした。補助率は二分の一。

【高度へき地】

本年で三年目。昨年度と同じく三十五級にとどまった。補助額は要保護・準要保護と同じ。対象は小学生一万六百六十四人、中学生一万二千百人で、小計では昨年度より二千六百八十七万五千円ふえて一億四千三百二万五千円となった。この補助率は三分の二。

また、本年度の要保護・準要保護の補助は修学旅行委のほか学用品、通学用品、通学費などを含めて四十九億一千五百三十九万一千円で、昨年度より十八億六千二百二十七万七千円の増、へき地は「教員対策」「教育環境の整備」「児童対策」「教育内容の改善」などを含めて百六十四億七千四百十二万八千円、昨年度より五十一億二千九百九十七万五千円の増額となった。

父母負担の軽減

三地区協で運動方針

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会（中山正秋会長）の第七回連絡協議会は一月二十八、九日、京都市左京区のホテルサンフラワーに中山正秋会長ほか各地区委員会代表、顧問の山本種一全修協理事長も出席して開催した。

第一日は午後二時から同五時まで、第二日は午前九時から同十一時まで①修学旅行費父母負担軽減運動の推進②修学旅行の基本調査③組織の拡大、強化などについて検討を重ねた。

①については昨年度、文部省に対し要保護・準要保護児童生徒補助金増額、国鉄には現行の専用列車特急料金の割引率をあげることを要請したと報告、本年度もさらに運動の継続をきめた。②については、昨年度実施した調査報告のまとめを発表、本年も引き続いて実態把握をすることを決定した。

（詳細は次号に）

全修協第16回 通常総会開く

3月5、6日、熱海で

（財）全国修学旅行研究協会の第十六回通常総会は三月五、六日熱海市の新熱海ホテルに山本理事長はじめ全役員、支部長、協力団体代表が参集して開かれる。

社会の大きな変動期を迎え教育界もこの難局を克服すべく総力をあげなければならぬとき、全修協としては修学旅行、研修旅行事業の進歩拡充を通じて、時局に対処し、あらためて全修協の使命を再確認するとともに組織の拡大強化を図るのが今回の総会の大きな目標である。二日間にわたって諸議案を審議決定するが、全国から参集する同志たちの真剣な検討が期待され、これによって本年度の全修協運動はさらに不動となり、教育界への寄与貢献は著しいものになろう。

引率旅費の獲得へ

＝旅行地は関西方面が好適＝

佐藤武男

昨年の茨城県中学校修学旅行は春季だけで実施し、無事故で終了することができたが、これは県内各中学校の努力と関修委および全修協の協力によるものであって感謝にたえないところである。

茨城県でも修学旅行委員会の存在が高く評価されており、例えば高萩地区のように、修旅委組織に加わってくる傾向がみられ、全県的なものになることも近いであろう。一部には新幹線の修学旅行専用列車を利用しないで、湘南や東北方面へ行っている学校もある。なかには現在の新幹線列車の発着時刻や期日が現場の希望と合致しないばあいもあると思われるが、その利点や設定趣旨を理解してもらえば、当然、傘下にはいってもらえるだろう。もちろん現在の新幹線専用列車のうち一本が東京発午前十時五十二分では、いかにも遅すぎることも挙げられる。五十一年度からは、これを午前九時台にすることが急務である。茨城県では北茨城地区や両毛線利用のつなぎ列車の問題があるが、県当局も理解を示してくれるので、これからは国鉄との折衝によって漸次解決していきたい。

修学旅行地に関西を選ぶばあい教委、校長あるいはPTAの反対によって実施不可能のときもあろうが、私としてはぜひ関西へ行ってほしいと思う。中学生には同方面が適していると確信している。

日本のふるさとである奈良や京都を、じかに肌で感じ、見ることによって、中学生なりに認識を深めることだろう。関西には自然の風物が豊かに残っていて、文化と自然の調和にはことかないのだから、ぜひこの方面を選ぶべきだと思う。

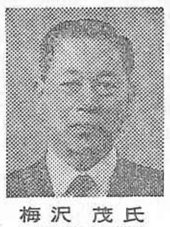
さらに修学旅行の引率旅費については先生がたに十分な感謝の意を表すべきであるが、茨城県ではまだその段階にいたっていない。県当局へも訴えているが、今後も強くこの運動を推しすすめるつもりである。いま当県の引率旅費は一般旅費から出ているが、私はこれを〃別枠〃にすることに疑問を持っている。それは総額の旅費のなかで割り当てられることが考えられるからである。それよりもむしろ管外出張旅費を大幅に増額するほうが得策であろう。積算のなかに修学旅行引率の項目を設け、その配分は校長に一任すべきだと思う。

関修委については、まだ現場の校長や担当教諭の認識が欠けていることが多いようで、もっとPRが必要である。これは各修旅委の責任でもあり、県内組織を通じてもっと周知徹底を図らねばならない。とくに新幹線網の拡大にともなう各地区の修旅委の誕生による三地区修学旅行連絡協議会の組織強化を考えるとき、その母体としての関修委の責任はますます重大であり、われわれはその育成にあらゆる努力をつくさねばならないと思う。

（関東地区中学校修学旅行委員会会長・茨城県中学校長会長・水戸市立第二中学校長）

梅沢茂氏が就任

全修協栃木県支部長に



梅沢茂氏

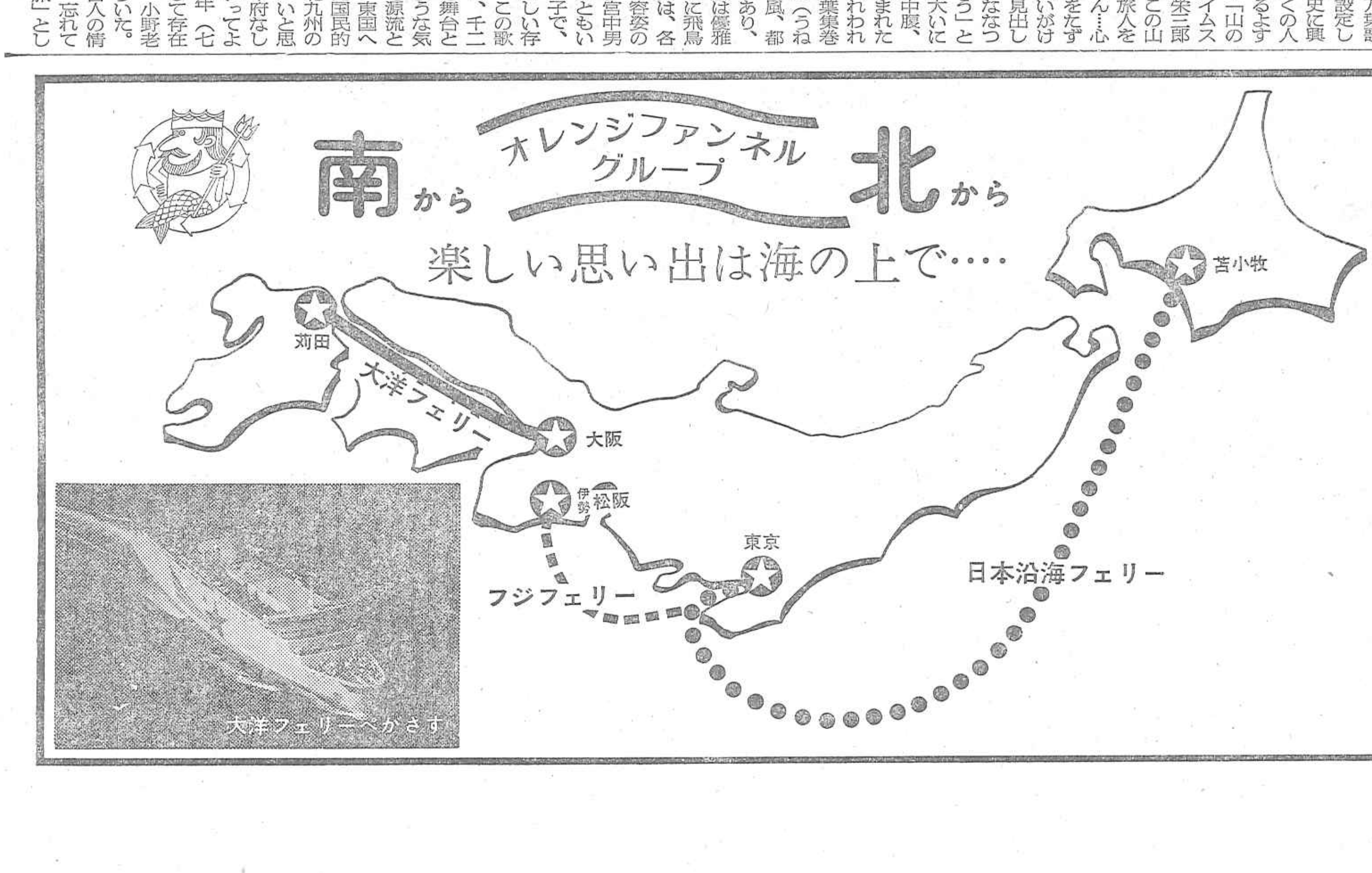
北条虎雄氏の死去によって空席だった（財）全修協栃木県支部長に梅沢茂氏が一月一日付で就任した。同氏は教育実践と行政に関する権威者として知られ、県支部長の就任によって修学旅行の指導改善と研修旅行の拡大強化が期待される。

昭和七年栃木県師範学校本科第一部卒、十六年広島高師教育科卒十九年広島文理大哲学科卒、この間に小学校、高等女学校の教諭を歴任、十九年栃木県師範学校助教授、二十五年県教委指導主事を経て各高校長を歴任後、四十一年県教委指導課長、四十五年県立宇都宮高校長、四十七年県連合教育会副会長、四十九年に同会長に就任し現在にいたる。白鴎女子短大講師。住所は宇都宮市桜町四ー一六ー一三。六十三歳。

日本の旅　世界の旅
電算機がお手伝いする
ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

風紋

全修協では、夏の研修旅行で特別研修コースのひとつに「万葉歌碑の研究」を設定した。古典や古代史に興味ある人ばかりでなく、多くの人々が日本の心のなかにふれるよすがとしたいと考えている▼「山の辺の歌碑をたずねて」（タイムス社）の中で、桜井市長池田栄三郎氏は「われらは風のようにこの山野を踏み過ぎてゆく心なき旅人を多く迎えたいとは思いません…心ひそめて自らの血脈の源流をたずねてくる旅人にとって思いがけなく、樹かげや草むらに見出した小さな碑は、野仏のようななつかしい想いがいたしましょう」と語っている。この発想には大いに共鳴する▼飛鳥の甘樫丘の中腹、登り道の左手に自然石に刻まれた万葉歌碑がさりげなく、われわれに語りかけてくる。歌は万葉集巻一ー五一志貴皇子の「采女（うねめ）の袖吹きかへす明日香風、都を遠みいたづらに吹く」とあり、書は犬養孝氏である▼歌意は優雅な采女達が藤原遷都とともに飛鳥の都を去ったものだ。采女は、各国から宮中にたてまつった容姿の美しい女性で、結婚はせず宮中男性の憧れのまとでもあったともいう。志貴皇子は天智天皇の子で、当時の天武朝の中で、わびしい存在であったことを思えば、この歌碑をタイムトンネルとして、千二百年前の歴史が、甘樫丘を舞台として荘麗に描き出されるような気がする▼万葉集は、大和を源流として、筑紫、越中、山陰、東国へと全国にわたって開花した国民的歌集である▼今回はまず北九州の万葉歌碑研究の旅をしたいと思う。「筑紫の万葉」は大宰府なしには存在しなかったといってよい。神亀四年から天正二年（七二六〜七三〇）大宰帥として存在した大伴旅人や山上憶良、小野老などの歌が一せいに花ひらいた。これらの歌碑を通じて、古人の情緒を味わい、歴史を考え、忘れていた民族の心にふれる「旅」としたいものである。



●大阪南港↔北九州（苅田）
＜毎日出港＞
大洋フェリー
大阪市西区新町南通1－7（住生四ツ橋ビル）
〒550　TEL06(532)3651
予約センター　苅田093(46)3135
東京03(562)1571　大阪06(531)5511

●伊勢松阪↔東京＜毎日出港＞
フジフェリー
東京都港区新橋1－10－7（大和銀行新橋ビル）
〒105　TEL03(572)7111
予約センター　東京03(563)0578
松阪05982(6)3711　大阪06(531)8291

●東京↔苫小牧＜毎日出港＞
日本沿海フェリー
東京都港区新橋1－10－7（大和銀行新橋ビル）
〒105　TEL03(573)1911
予約センター　東京03(563)4015
札幌011(261)6321　横浜045(681)7744

又は最寄の旅行代理店へ

衣食たりて礼節

新生中国視察記 ＜1＞

完戸一郎

昨秋十一月二十二日、北京市で開幕された「日本農林水産技術展」に、日本国代表団の一員に加えられ、新生中国の一部を視察する機会を得たので、印象に残るものを紹介しよう。

羽田空港から日航機で四時間十五分。北京空港に直行し到着した。この時間は上野駅から山形駅に特急列車が走る時間である。全く近いお隣りの国だということがわかる。途中、美しい富士山と揚子江の大河の情景が印象的であった。悠々たる大河の流れは、中国民の歴史と国民性の象徴のように思われた。

○……○

北京空港で、日中友好協会長の廖承志氏を始め、中国国際貿易促進協会の王耀庭委員長などの出迎えをうけた。日本側団長の藤山愛一郎氏以下、十数名の代表は三台の自動車に分乗し、北京市郊外にある「北京友誼賓館」に到着した。空港からの途中には、りんご園が相当ひろい範囲にひろがり、品種は国光とのことであった。

友誼賓館は解放後に建立された外人用のホテルで、その門前は兵士が交代でまもり、ホテルのボーイから換金嬢や食堂係に至るまで国家公務員である。チップは一切受けとらず、小さいお土産品すら手にとらない風景は外の国ではちょっと見られない。さらに、個室の鍵はわたされるが、これはここに泊る外人客のためで、従業員のためなら全く不用というのには、ほんとうに頭のさがる思いがした。とくにわが国のホテルばかりでなく、夜汽車でのスリや、おきびきというような不愉快な事象を思いあわせると、ほんとうに恥しい思いがする。ホテルから市街に通ずる道路には、ポプラや楊柳の並木が美しく立ちならんでいて、落葉もきれいに掃きとられ、紙屑などの落ちているところもなく、清々しい気持だった。

私どもの少年の頃に聞かされた中国のイメージのなかには、不潔な生活環境と不信にみちた生活慣習とがいっぱいであったが、今日の新生中国では全くこれを払拭している。このことは、単に学校教育だけの結果でなくして、社会態勢の確立したおかげであると、一人の指導者は答えてくれた。「衣食足りて礼節を知る」という言葉は、中国の古代から伝えられたものであるが、「衣食足る」とは主観的の内容と受けとめれば、現在の程度で満足している社会態勢の平等の原則は、われわれにはちょっと理解出来にくい面もあるが、消費が美徳の如く生活して来た日本人の考え方が、むしろ恥かしいと思う。そして他人の物を盗る心というものは、どこから生まれるのかを、さらに根本的に究明してみなければ、説明のつかない問題のように思われるのである。他人に迷惑をかけ、他人に不快な思いをさせまいという、他人をいたわる心のわかないかぎり、いくら衣食足っても盗みはなくなるまいと思う。（つづく）＝全修協理事・山形県支部長・山形県議会議員＝

日本农林水产技术展
11・22～12・12

日本農林水産技術展の入口

研修旅行の募集開始

春季 異色の6コースで

ことしで十九回を迎える全修協の教職員研修旅行は、すでに冬季二コースを終え、春季の募集を全国的に展開中である。学校あての掲示用チラシは各支部や協力団体の手によって順次に配布されており、二月二十八日の締切日までには各コースとも満員が予想される。春季コースは次の通り。カッコ内は実施地区。

▼一般コース

▽隠岐島（関東、北陸、東海、近畿）
▽四国路（東北のうち福島・山形・宮城、関東、北陸、東海、近畿）
▽飛鳥と難波河内（近畿を除く全地区）
▽古窯探訪＝一＝（北陸を除いて全地区、東海は静岡だけ）
▽国東文化の探究（中国、四国、九州を除く全地区）

▼特別研修コース

▽鎌倉の再発見（関東、東海のうち静岡、近畿）

【日程・費用などは各学校へ配布したチラシをご覧ください】

自然との信頼感を

＝新しい年を迎えて＝

曲淵　義雄

多忙ななかに明けくれた年の瀬も、一夜すぎれば元旦と、時の刻みに変わりはないのですが、新年ともなれば、いささか厳粛な思いになるのは年齢のせいでしょうか。

しかし、世相は厳しく、インフレ、物価高、失業、政治不信と、ますます深刻な様相を呈しております。

教職員の生涯にわたる幸福と、豊かな生活を保障する道を求めんと歩み続けている私どもの前途も決して楽観はできません。

今年こそ、社会に対して他人に対して、そして自分自身に対してもっと勇気をもって対処したいと念じています。困難に立ち向かってこそ、自ら解決への力が出てこようといえましょう。

ともあれ、人生には余白が必要。自然との信頼関係を取りもどせるような〃旅〃がしてみたいと思っています。（兵庫県学校厚生会理事長）

研修旅行の作品

心に残る九州の旅

㊦ 薩摩半島も思い出の一つ

山田永子

今夜の宿、宮崎へ向う。大淀川は雄大だ。江南荘は川岸のデラックス・ホテル、ちょうど花火大会の日で、すばらしい花火を見ることができた。

四日、子どもの国へ行く。太平洋にのぞんだ遊園地。リュウゼツランやフェニックスも南国らしく水鳥が自由に泳ぎまわっていた。ラクダも人待ち顔で、のんびりと休んでいた。九州の子どもたちは恵まれていていいなあと思った。

九時発、十時二十分青島に着く。干潮時には砂の上を歩いて渡れるとのこと。周囲一・五㌔の小さな島。真中はジャングルで、海岸はグラビヤなどによく出てくる鬼の洗濯板、頁岩と砂岩の互層が隆起して何百本もつづくようすはすばらしい。

海岸は砂でなく、サンゴ礁のような貝のかけらの集り。このへんでは冷やしたパイナップルを売っている。おいしかった。十時四十五分、バスの中から見た日南海岸がすばらしい。波に洗われている鬼の洗濯板とフェニックスが絵はがきのようにきれい。延々と続く海岸線がすばらしい。

十一時、鵜戸神宮の食堂で食事をする。石段の下は断崖で、波が迫るように押し寄せ、奇岩・怪石にとどろき、しぶきをあげてぶつかっていた。鵜戸神宮は昔、神仏混こうで明治二十七年に修造された。シャンシャン馬を買う。

二時、都城を通って国部に出、桜島に向う。火山灰が降っているのが見えるようになった。あたりがうす暗く、展望台に着いたとき火山石のあまりにもすごいのでびっくりする。砂場を歩くときのように靴に火山灰がかかる。大正三年の大爆発のようすがわかるような気がする。ちょうど噴火していて、煙のすごさにみんな見とれていた。とにかくすごい。

長崎鼻に向う途中、真青な空に開聞岳が見えた。左側には種子島屋久島、硫黄島なども見える。開聞岳は薩摩富士とよばれる複式火山で裾は四㌔から五㌔㍍で四十五度の傾斜面にバナナやパイナップルを栽培している。開聞岳はご神体としてあがめたという。

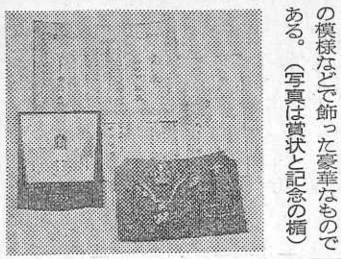
長崎鼻に着いたところは日が沈みかけていた。灯台が白く、くっきりとそびえ、開聞岳の頂上には座布団のような雲がかかり、右側の海は波が静かで、まるで夢をみているかのような景色だった。階段をおりて岩石の細い道を薩摩半島の先端まで行く。そこにはだれもいない。もう二度とは味わえないだろう。

九州—とくに歴史や伝説など調べるのによいところだ。今回の旅行は、いつまでも私の心に残るであろう。（昨年度研修旅行・九州一周コース参加者・埼玉県志木市立宗岡二小）

北海道知事賞と道観連賞を贈呈

昨年度の研修旅行写真コンクール

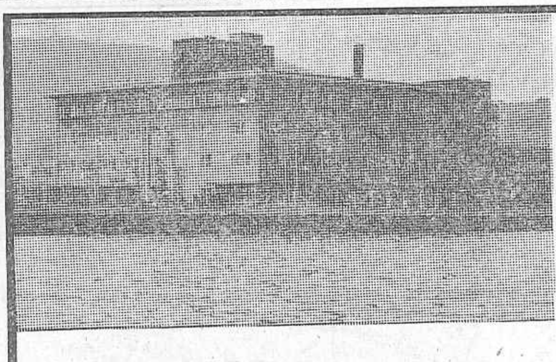
全修協の昨年度教職員研修旅行写真コンクールのうち、北海道コースに設定されている北海道知事賞と北海道観光連盟賞は知事賞が新発田昭（東大阪市菱江一五七）道観連賞が石橋ふじの（東京都葛飾区高砂八—二三—一一）両氏と決定したが、このほど賞状とともに記念品が完成、二氏にそれぞれ贈られた。記念の楯は知事賞が横二〇㌢、縦二三㌢、道観連賞が横三〇㌢、縦二二㌢の木台上に金色の模様などで飾った豪華なものである。（写真は賞状と記念の楯）



全国各地
小中高校
全90種
旅のしおり

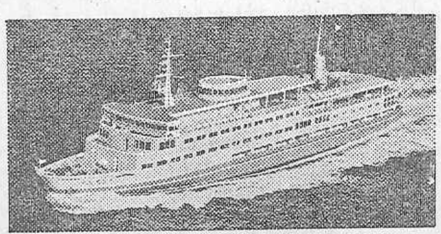
■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5
（京都駅新幹線口の南西）
株式会社
教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館
びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2—25 電話 大津(0775)24—2321

KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅



●阪神—別府航路（毎日4便）
●阪神—小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸—日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
■お問合せは
大阪市北区宗是町1(06)441—4100/東京都中央区八重洲1-9-9(03)281—2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あっ旋案内所へ

安心して泊れる旅館
東京のお泊りは
文教の地〃本郷〃で
環境・交通は
修学旅行に最適です
経験で奉仕する修学旅行のメッカ本郷へ
近畿日本ツーリスト協定旅館連盟
東京支部本郷地区会員
武蔵野館　文京館　ふたき旅館
平安荘　真成館　追分旅館
朝陽館本家　富士館　長栄旅館
本郷館（本館・別館）　朝明館　春養館
日本学生会館　機山館
旅館かつら　旅館大正園
（順不同）